

計画地に求められる施設機能（案）

歴史的な経緯

- ・静岡都心地区は、駿府城の城下町として発展を遂げてきた地区です。計画地周辺には駿府城の堀や石垣、土塁等の歴史資源が残されており、曲輪の形状は都市構造として街区に引き継がれています。
- ・旧三の丸内には明治時代以降、幕府機関の蔵書を引き継ぐ葵文庫や、官公庁・市民体育館・文化会館の設置等、地域の文化・教育のための新たな取り組みが行われてきました。
- ・新たに整備予定の**歴史文化施設と連携し**、これまでの歴史を保全活用するとともに、**新たな都市機能を導入することで、静岡都心地区を発展させていく**ことが考えられます。

計画地及び周辺の状況

- ・街なかの回遊は静岡駅-呉服町通り間を中心とする東西方向にとどまっておられ、**御幸通り以北への回遊を創出するためには、旧三の丸内への集客力のある機能の導入が重要**であると考えられます。
- ・計画地内は、文化芸術活動やスポーツ活動の場として多様なニーズのもと、多くの市民に利用されています。**集客力の高い大規模施設とともに、利用の合間や前後の時間を過ごせる時間消費型の施設を導入**することで、これまで目的施設のみの利用にとどまっていた**来街者の需要を連鎖的に誘発することが可能**であると考えられます。また、現在周辺で進められている市の事業とあわせ賑わいの相乗効果も図れるものと考えられます。

上位計画等における位置づけ

- ・上位計画では、「地域の歴史資源と文化を活かした市内外との交流の活性化」「交流機能となる都市機能の誘導」「回遊性向上による賑わいと活力のあるまちの実現」「日常的なイベントの場の創出」が静岡都心地区及び計画地周辺に求められています。

上位計画の本計画に関連する主な内容

- ・芸術文化活動への市民の参加を促すとともに、これからの静岡文化を担う人材育成の充実を図る
- ・ライフステージに応じたスポーツ活動を推進
- ・オープンスペースなどの公共空間の使い方を見直し、市民がイベントや賑わいの場として活用できる仕組みを構築するとともに、デザイン性あふれる街並みを創出
- ・交流等の都市圏の核にふさわしい都市機能の誘導
- ・にぎわいや憩い、コミュニティ活動を支える公共空間づくり
- ・家康公らが築いた歴史文化を活用したにぎわい創出
- ・定期利用やイベント利用を促すために、滞留空間の居心地向上を図る
- ・文化を享受する機会の拡大による市民の文化力の向上、大規模事業開催による集客と交流の場の創出
- ・「観る」「する」「支える」視点で推進
- ・まちの回遊性を保ちつつ、人々が集い、賑わいのある景観の形成

参考：第3次静岡市総合計画、静岡市総合戦略（平成29年度改定版）、静岡市都市計画マスタープラン、静岡市中心市街地活性化基本計画、静岡・清水都心地区魅力空間創出方針、静岡市文化振興計画、静岡市スポーツ推進計画、駿府城公園周辺の景観まちづくり方針

市民アンケート・市場調査等

- ・市民アンケート調査、市場調査、交流人口試算、経済波及効果、税収試算等を実施し、解決すべき課題はあるものの、ホール及びアリーナを整備することで静岡市に大きな効果があることを確認しています。

計画地に求められる施設機能

- ① 伝統芸能など「歴史文化」と音楽や美術などの「芸術文化」の創造拠点機能。
- ② 多くの人々が訪れ、周辺他機能との相乗効果により回遊性を生み出す大規模集客機能。
- ③ 様々な催事が開催されることで、まちなかの求心力を向上させる機能。
- ④ 歴史文化と新たな都市機能の融合により、まちの魅力を向上させる機能。
- ⑤ 子どもから大人まで世代をこえ、日常的に利用され、賑いを創出させる機能。

